

令和3年度 調布市立柏野小学校 学校経営計画（学校長 浅野 正臣）

学校の教育目標	
○ 考える子 ◎ 思いやりのある子 ○ 健康な子	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
学校像:「子供が明日も学校へ来ようと思う学校づくり」 児童像: 学習、生活、自分の生き方を(考える子) 自分、友達、大人を(思いやることができる子) 体、心の(健康な子) 教師像: (児童がよりよい学校生活をおくるために) 工夫、改善の視点・一つの事柄について二つ以上の視点・協同の視点をもつ	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	主な現状 ・学校生活(学習への意欲、ルールを守った生活等)に前向きに取り組もうとしている児童が多い。一方で学習面や生活面で課題をもっている児童もいる。 ・指示された役割は、積極的に行うが、自分から進んで行動する経験が不十分なため、行動につながらない。 課題として ・課題をもつ児童への関わり方を考えていくとともに、学級、学校全体で児童が学校生活を前向きに取り組むための環境を整備する必要がある。 ・児童が自己肯定感を高める活動を実施していくことが必要である。
中期的な経営目標	
① ・挨拶を始めとする社会のマナーを身に付け、行動に表すことができるとともに、自分も他人も大切にできる児童の育成。 ・児童の心の課題に対応できる組織の構築(特別支援教室との連携、生活指導部、校内委員会やいじめ防止対策委員会のさらなる充実) ② ・各教科における知識・技能を確実に身に付け、主体的に学習に取り組むことができる児童の育成。 ③ ・運動を身近に感じ、生涯にわたり運動を続けたいと思うとともに、食に関する意識を高め、健康に生活しようとする児童の育成 ④ ・地域の自然や人材・施設を生かした学習活動や教材の充実。 ⑤ ・特別支援教室と連携したUD環境の整備と指導方法の改善。 ⑥ ・PTAと協力した読書活動を始めた児童の諸活動の充実。 人・組 ・新たな学習内容や生活習慣に適應するための発想をもち、授業力の向上や活動の提案を常に行う気持ちのある教職員の育成。 ・各自の能力を活かすとともに、一体となって職務に当たれる組織の構築。	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)
① 年2回のあいさつ運動や年4回の生活目標であいさつについて取組む。	① 管理職や教員相互の授業観察を実施し、主体的な学習態度を育てる授業への改善を図る。	① 休み時間に外で遊ぶことや、教室でのコーディネーショントレーニングを通して、身体を動かす楽しさを感じさせる。
② 友達と関わる活動(たてわり班活動・係活動など)を行う。	② 基礎・基本を身に付けさせるために個に応じた授業実践やタブレットの活用を行う。	② 栄養士や、養護教諭によるアレルギーへの学校全体への指導や、食べ物への関心を高める活動を通して、食育の充実を行う。
(2) 成果目標(数値目標)	(2) 成果目標(数値目標)	(2) 成果目標(数値目標)
① 保護者・児童アンケートの肯定的評価を90%に近づける。	① 保護者・児童アンケートの肯定的評価を90%に近づける。	① 児童が身体を動かすことが楽しいと感じる肯定的評価を90%に近づける。
② 保護者・児童アンケートの肯定的評価を90%に近づける。	② 保護者・児童アンケートの肯定的評価を90%に近づける。	② 保護者アンケートの肯定的評価90%を維持する。
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 地域を活かす活動	5 UD環境の整備	6
(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)
① かしぼん農園や、隣接の水田を活用した農業体験を実施する。	① 教室の掲示や、目当ての示し方などを授業観察などを通して整備していく。	③
④ 地域の自然を活かした学習活動を実施する。	③ それぞれの児童の実態に応じた学習環境の整備と学習内容の工夫を進める。	②
(2) 成果目標(数値目標)	(2) 成果目標(数値目標)	(2) 成果目標(数値目標)
① 毎月1回、農園や水田で活動を行う。	① 授業の際、目当てがいつも提示されている。	④
② 全学年学期1回の学習活動を実施する。	③ 児童アンケートの肯定的評価80%、教員の自己評価90%に近づける。	②

人材育成・組織運営
・主体的な学習に取り組む態度を育てるための授業改善や、オンライン学習に対応できる教材開発を進める人材を育成する。 ・各教職員の提案が活かされ、前例にとられずに、学校全体が活性化される組織運営を目指す。